

# きんぎょ



122号



## <Tさんちのくり>

親友のTさんはイガが緑の内にとって、毎年持ってきてくれる。中がはせて実が飛び出さぬうちというのは微妙な期間だと思うが、心配りを感謝しながら描いています。秋の味覚の象徴の一つである「くり」のイガは、手に触れると痛い。こんなに強烈な鎧をつけた果実は少ないように思うが、長い歴史のなかで自然に身についたリスクへの備えだったのかと思う。

小嶋 房夫 (経営工学)

## 目 次

項 目	担 当	ページ
表 紙 <Tさんちのくり：小島房夫>	廣谷恭三	1
目 次		2
巻頭言	稲本 渡	3
平成 23 年度第 3 回近畿本部役員会議事録	福岡 悟	4
セミナー「防災・減災のネットワークづくり（その 2）」	湯原 徹、森田孝雄	9-11
<b>部会予告・報告</b>		
食品部会	廣谷恭三	12
化学部会	藤橋雅尚	13-14
電気電子部会	東尾 悟	15-16
環境研究会	山崎洋右	17-18
関西情報技術士会		19
技術士業務研究会	三木茂男	20
上下水道部会	今村哲男、中村秀人	21-22
経営工学部会	間島勝彦	23-24
ISO 部会	竹内修治	25-26
機械システム部会	高田光憲	27-29
繊維部会（京都市 産業技術研究所見学案内）		30
<b>トピック</b>		
「なでしこジャパン」選手とドイツでの遭遇	上田泰史	31-32
<b>江戸通信ーその 1</b>		
	小坂慎也	33
<b>雑感アラカルト</b>		
		34
岩田先生に思う！	川口俊雄、「きんき」編集委員一同）	35
編集後記	古賀滋人	36

